
< 第 6 章 >

高校生・大学生・社会人の反応

本調査研究では、高校生が社会に出ていく上での実効性のある資質・能力の重要性が感じられ、また、調査問題そのものについての興味・関心を持つことができるように、かつ、教師にとっても指導法の検討材料にするためのデータを収集するために、高校生だけではなく、大学生・社会人への調査を行った。

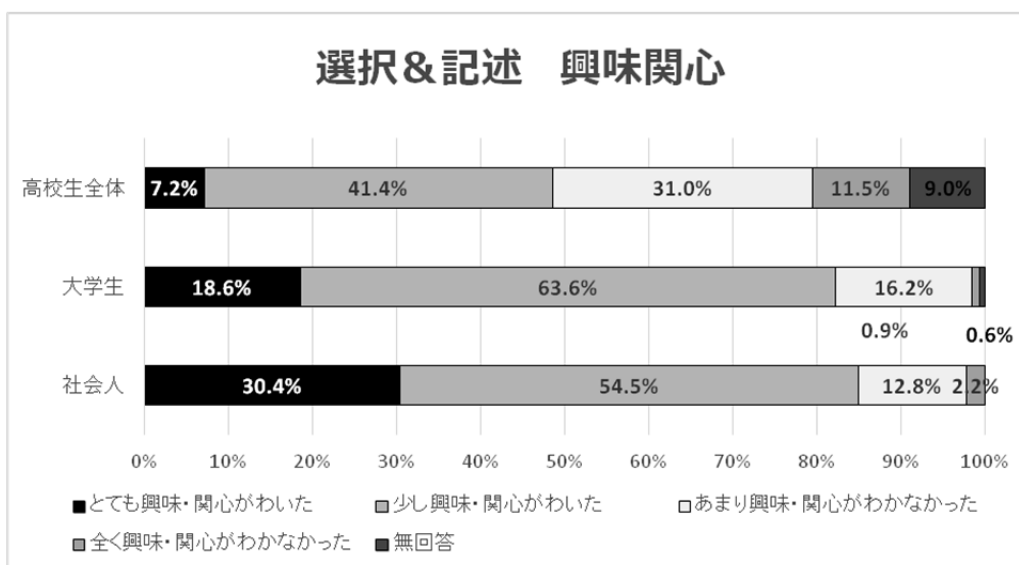
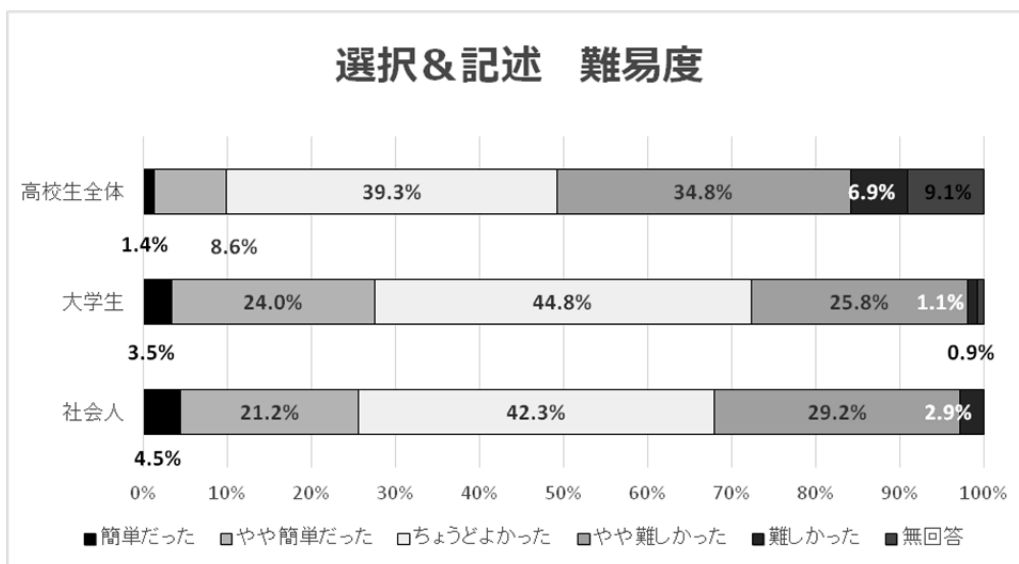
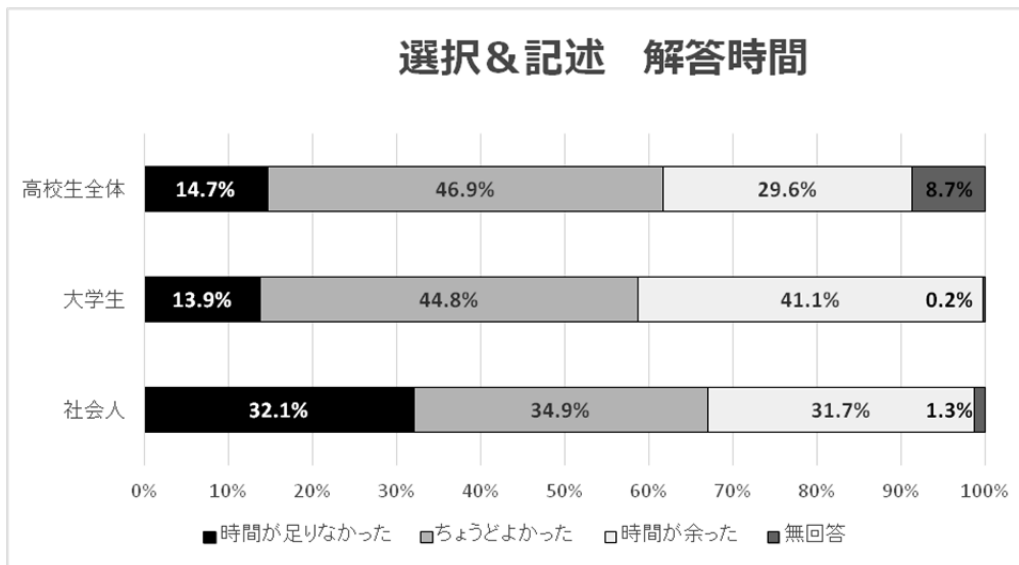
本調査研究で実施した評価テストについては、その妥当性を確認するため、高校生・大学生・社会人の反応について、実施直後に定量及び定性アンケート調査を行った。問題ごとの興味関心や難易度などの結果をもとに、次の作問に生かすことで、テストの妥当性を高めるとともに、育成指導に生かす問題の選定にも活用した。

本章では、最も調査数の多い平成 26 年度の評価テスト実施後の定量アンケート調査の結果、および定性アンケート調査の結果からの代表的な声と、調査問題全体についての代表的な声を掲載した。

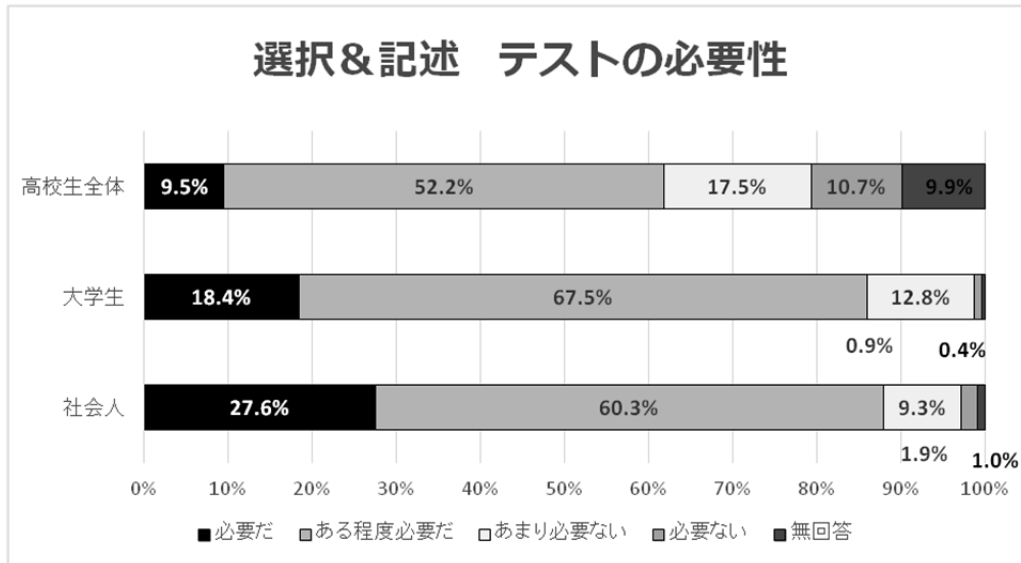
1. 評価テストに対する高校生・大学生・社会人の反応

(1) 選択&記述式問題について

■平成 26 年度実施 定量アンケート結果 (高校生 3,982 人、大学生 462 人、社会人 312 人)



■ 定量アンケート結果（続き）



■ 定性アンケート結果（一部抜粋）

高校生

- ・私たちが普段受験をするために解いている問題とは違ったものの見方ができて新鮮。
- ・普通のテストにない、お堅い感じでなくて、なぜなぞみたいところが面白かった。
- ・このようなテストはどれが正解であるとはっきり言えないけど、だからこそ身近な人と問題を一緒に考えてお互いの意見や考えを伝え合ったら、もっとお互いの理解を深められると思う。
- ・ふつうのテストは勉強って感じだけれども、このようなテストはただの勉強ではなく、これから社会に出ていく上で必要となる力をテストしている。
- ・テストを通して、自分のことを考えさせられた。
- ・(答えが1つではないような問題では) 選択肢から選ぶときに、自分の考えが別にあると思ったとき、自分の考え方が制限されている感じで少しいやだった。
- ・少しは大事だとは思うけど、大学受験とかでは必要ない。

大学生

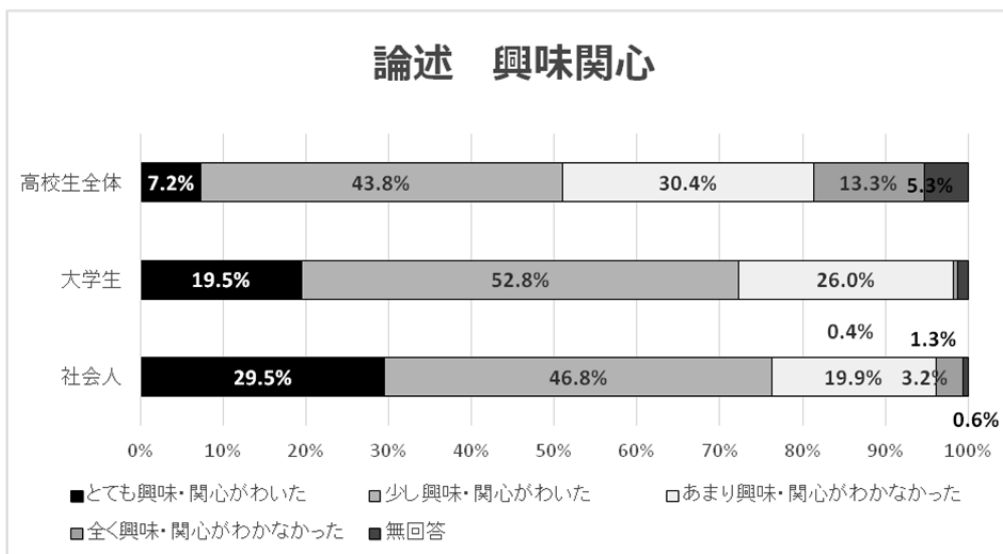
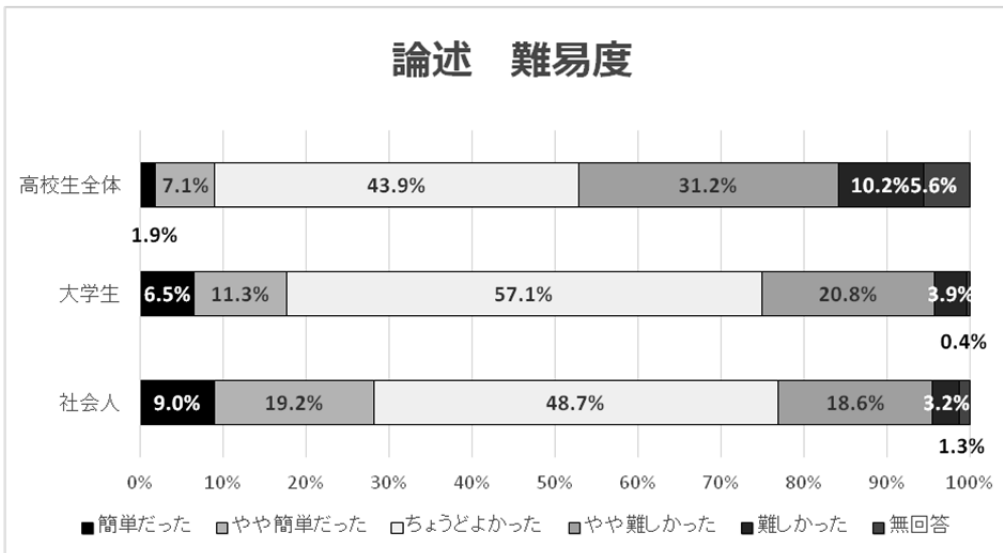
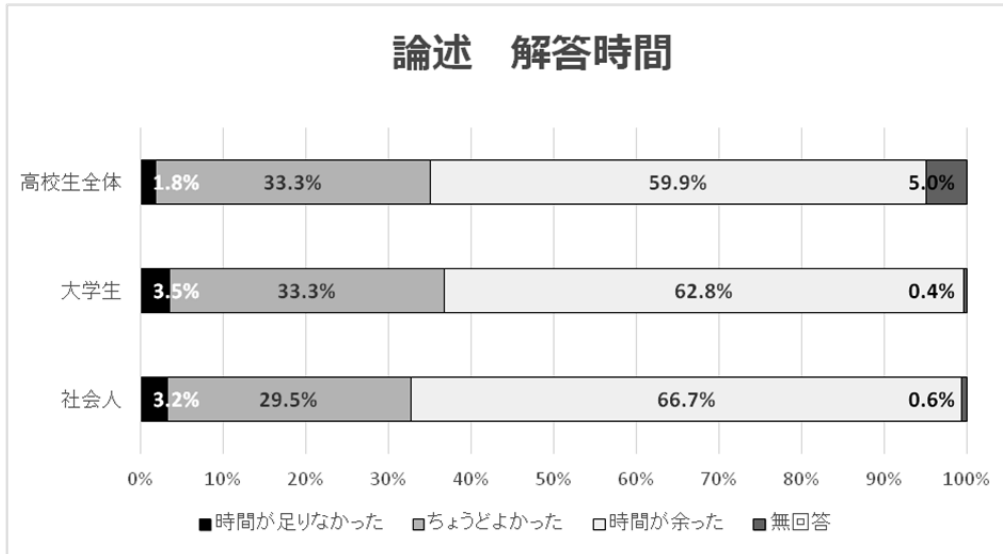
- ・今まで多くの試験を受けてきたが、このような思考力テストは初めてだった。学力以外に必要な思考論理力を測るのによいと思う。社会で役に立つと思う。
- ・普段から原因などを考えるクセをつけないと後から考える力をつけることは大変なように思えるから、このテストはそういったクセをつけるためのいいキッカケになると思う。
- ・就職試験にも役立つ。

社会人

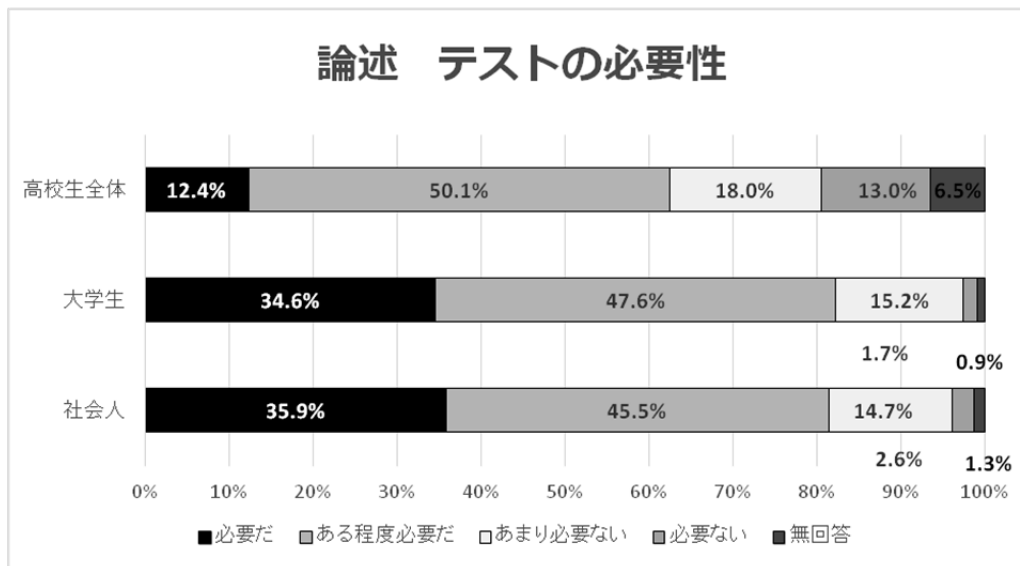
- ・単なる知識ではなく、論理的に思考する力やいろんな人と一緒に問題を解決する力はこれからのグローバル化社会で必須、その必要な力を測れるテストの存在は有益。
- ・頭の体操のような問いが多かったので、こうしたものに触れる時間は確実に必要。
- ・必要であると思うが、一義的に正解を1つにしぼってもよいのかどうか、選択肢の問題の中には、疑問に感じる設問もあった。出題者の意図や主張が見える設問については、慎重になる必要があるのではないか。

(2) 論述式問題に対する高校生・大学生・社会人の反応

■平成 26 年度実施 定量アンケート結果（高校生 3,982 人、大学生 462 人、社会人 312 人）



■ 定量アンケート結果（続き）



■ 定性アンケート結果（一部抜粋）

高校生

- ・全体的におもしろい問題だった。将来役立つと思った。
- ・自分の表面になかった、自分の中にあった考えが出てきて楽しかった。
- ・様々な意見が書いてあり、自分と違う意見などを読み、その気持ちもわかり、自分の立場だけではなく、別の人の立場に立って物事を考えることや、それを踏まえた上でどうしたらよいか考えることの大切さを改めて知り、そのことが今後、社会を生きていく中でとても重要だと思う。
- ・何を目的としているのかが、あいまいな気がする。環境についてならもっと具体的にすると良いと思うし、言動に対して相手の立場で考えた時の意見ならテスト形式で測るには無理があるし、測る必要がないと思う。

大学生

- ・正しい論理展開や議論の進み方について考え、また自分の意見も述べさせるのはとてもよいことだと思います。もっと教育の場でこういう問題について議論する場があるべきだと思います。
- ・このような考えづらい題材をテストという形式で考えさせることは必要だと思う。高校生のときにこういう考えることに慣れさせるのは、これから生きていく上で重要。なるべく早く実施すべき。
- ・それぞれの立場を考えたり、自分の意見を言う、考える、という点では必要。ただ、これがテストの形式で評価の対象であるということには疑問を感じた。上手なアフターケアをすればよいのだろうけど、文章だと伝わりにくいし、学校なら先生によって大きく左右されてしまう。

社会人

- ・立場によって主張・考え方が異なることはよくあるので、実生活でも活きると思う。
- ・人が生きていく上で、ジレンマを感じつつ、考えなければいけないことを含んでいると思う。
- ・ある問題に対して、他の人と話をするとき、それが意見や主張のぶつけ合いに終わることなく、ある一定の理解をお互いが得るためには、この種のテストで測ることが可能な能力は必要であると思う。
- ・評価は慎重に行うべき。テストを行うこと自体より、現場の教育に反映させることが重要だと思う。

2. 調査問題全体に対する高校生・大学生・社会人の反応

調査問題全体に関する代表的な声は、以下のようなものであった。

高校生

- ・勉強とは違う、生活に必要なことを知ることのできるよい機会だと思う。
- ・自分の本当の力を測れている気がした。
- ・自分の表面になかった、自分の中にあった考えが出てきて楽しかった。今まで考えてたことと違う考えが出た。
- ・1年のときより解きやすかった。1年間の生活の中で、そうした力が身に付いたからかもしれない。特に力の育成を意識して生活していたわけではないが、自然と身に付くかも。
- ・将来役立つと思った。人の気持ちを考える問題とか。

大学生

- ・人と話してて、背景はきちんとあるのに、違うところで会話をしている、本当に解決しなくてはいけないことを解決しないで表面的な会話をしていることがあるとわかった。
- ・勉強になった。因果関係と相関関係は違うということを知っていたので、いいと思った。認知心理学で聞いたことがある。
- ・こうしたことを考えることは、社会に出て役に立ちそう。
- ・グループなどで、価値観が違う4～5人でプロジェクトを進めていく時に使えそう。
- ・目の前の問題だけみても根本を見ないと違う方向に進むことがあるので、本質を考えるからよいと思う。うまく考えを合わせて、目線を合わせて、全員が同じ方向を向いているかを考えるのに必要になりそう。
- ・いきなり社会に出てそんなことさせられても、困りそうなので、いいと思う。
- ・大学に入って初めてちょっとやり出しているけど、これまでやっていなかったのは何でなのか。
- ・高校までの勉強よりも、プレゼンとかでうまく伝えられないとダメだと感じている。
- ・1：1だと言葉足らずでもくみ取ってもらえるが、大勢向けだったり、公的な時には伝えることが必要となる。
- ・小学校では発表とかやっていたのに、中高は何やっていたんだろうと思う。

社会人

- ・普段は業界の考えに縛られているので、そうした考えをとっぴらって、自分の考えを構築するのが楽しかった。自分は金融なので、利益重視で考えてしまう。でもウナギの問題のように、様々な角度の考えを知って、その上で自分の考えを統合的に作るのがよかった。
- ・答えが気になり他の人と話してみたい問題。大人でも、試験後に話し合っている人たちがいた。
- ・実際にありそうだと思う。
- ・自分の考えを自由に書くところがよかった。普段、ニュースなどについて考えているようで、あまり考えていなかったことに気づいた。ウナギの問題も知っていたし、考えはしたけど、あそこまで深くは考えていなかった。いろんな角度から考えを統合する機会になるのでよかった。
- ・社会に出ると教科書通りにいかない。いろんな人がいろんな考えで動いている。自分の考え以外の考えに触れるという経験が役立つと思う。今は家族とも話す機会が減っていると聞くので、異なる意見とぶつかることが少なくなっていると思う。今回のテストのように、「身近」＋「いろんな意見」というものがよいと思う。